

養護者による障害者虐待の通報受理から養護者支援の検討にかけての演習の内容

障害者虐待防止研修 自治体職員コース

養護者による障害者虐待の通報受理から養護者支援の検討にかけての演習です。3時間を予定しています。養護者虐待の通報を受理した場合の対応の流れを演習で体験し、実際の場面に活かしていただきたいと思います。東西市直営の障害者虐待防止センターの通報受理後の対応をどうするか考えてください。はじめに、グループ毎に自己紹介をしてください。

1. 相談、通報及び届出の受付

（個人ワーク）

養護者虐待の疑いで通報電話がかかってきます。

動画1を見ながら、通報内容のメモを作成してください。

動画視聴後、メモを参考にしながら「相談・通報・届出受付票」を作成していただきます。

動画視聴

2. 「相談・通報・届出受付票」の作成

（個人ワーク）

通報を受理した職員の立場で、各自作成した通報記録のメモから、「相談・通報・届出受付票」を作成してください。

個人ワークの発表

3. 対応方針の協議

「相談・通報・届出受付票」をもとに、初動の対応方針を決める打合せを行います。動画をご覧ください。

動画視聴

3. 対応方針の協議

（グループ演習）

課長であるあなたは、通報を受理した職員から「相談・通報・届出受付票」の提出と報告を受けました。あなたは、すぐに初動対応の方針を決定しなくてはなりません。対応方針の協議には、あなた（課長）と障害者虐待防止センター担当の山本係長、石井係員が集まりました。

あなたは、通報内容から緊急性をどう判断しますか。手引きP.49「緊急性が高いと判断できる状況例」から判断してください。

次に、緊急性の判断に基づいて障害者虐待防止センター担当の職員の誰に何をすることを対応方針として指示しますか。また、いつまでに行なうよう指示しますか。

グループで話し合ってください。

グループワークの発表とファシリテーターのコメント

4. 事実確認、訪問調査

（グループ演習：晴美さんの母親・京子さんへの聞き取り内容の整理）聞き取り記録1・2・3・4配布

山本係長と石井係員は、就労継続支援B型事業所みなみに行き、管理者の新井真一さんから晴美さんと家族のことについて聞き取りをしました。

また、計画相談の担当相談支援専門員・菊池恵子さんからも話を聞きました。

その結果が、就労継続支援B型事業所みなみ管理者新井真一さん（聞き取り記録1）と相談支援専門員・菊池恵子さん（聞き取り記録2）からの聞き取り記録ですので読んでください。

また、近所に住んでいる晴美さんの祖母松原希美さん（聞き取り記録3）、京子さんの夫の正雄さん（聞き取り記録4）からも聞き取りした記録がありますので、読んでください。

この後、山本係長と石井係員は、晴美さんの自宅に行き、晴美さんの母親の京子さんから聞き取りをすることになりました。京子さんからどのような内容の聞き取りを行なうか、内容を整理してください。

グループワークの発表とファシリテーターのコメント

5. 訪問調査を行う際の留意点

（グループ演習4：母親への訪問理由の説明）

山本係長と石井係員は、自宅を訪問した理由を京子さんが拒否的にならないように説明する必要があります。どのように説明したら、どのような反応が返ってきそうか想定しながら、説明の仕方を考えてください。

グループワークの発表とファシリテーターのコメント

休憩

6. ケース会議の開催

（演習5：支援方針の決定）

晴美さんの母親の京子さんの聞き取りをして、記録を作成しました（聞き取り記録5）。今までの聞き取り記録と合わせて、全体像を理解してください。

これらを元に、障害者虐待リスクアセスメント・チェックシート（手引き・P69～）を作成し、課長は、虐待の緊急性は高くないと判断した上で、山本係長、石井係員を集めて対応方針を検討することにしました。

「（資料1）適応障害」は、参考に、京子さんが診断を受けている適用障害の情報を整理しました。

また、聞き取り記録などから、「（資料2）ジェノグラム・エコマップ」、「（資料3）生活史年表」を作成しました。

これまでの記録も含め、岡田京子さんが晴美さんを叩こうとした背景を分析してください。

また、分析を元に養護者である京子さんに対して、どのような支援を行うか検討してください。その際、晴美さん、正雄さん、希美さん、就労継続支援B型事業所みなみ、計画相談担当の相談支援専門員への対応方針も検討してください。

グループワークの発表とファシリテーターのコメント

（参考資料）養護者支援の参考例を共有

時間
5分
30秒
3分30秒
10分
10分
30秒
30秒
10分
10分

20分

10分

10分

10分

10分

50分

20分